

都市鉄道の運営 Urban Railways Management		更新
対象国の条件 : 都市鉄道（都市近郊鉄道、地下鉄等）を運行中または計画中の開発途上国		
研修コース番号 : 201984561-J002		
案件番号 : 201984561		
主分野課題 : 運輸交通/都市交通		
副分野課題 :		
使用言語 : 英語		
案件概要 途上国では、経済発展に伴う都市の道路交通渋滞、環境負荷・エネルギー消費の増大が喫緊の課題となっており、環境・エネルギー負荷が少なく大量輸送が可能な都市鉄道の建設が推進されている。一方で、安全かつ効率的な都市鉄道の運行に必要な運営体制の構築には様々な課題があることから、本研修を通じて、我が国の都市鉄道に関する豊富な経験を学ぶことで、自国における都市鉄道運営の改善に関する具体的な計画を提案することが期待される。		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 都市鉄道の運行に係る留意点を理解し、自国の現状と照らし合わせた上で、自国に相応しい都市鉄道運営の改善に関する具体的な計画を提案できる。 【成果】 - 安全で効率的な都市鉄道運行の重要性を説明できる。 - 日本の都市鉄道会社の運営・組織体制を理解し、自国への適用が検討できる。 - 日本の都市鉄道の維持管理手法について理解し、自国への適用が検討できる。 - 自国に相応しい都市鉄道の運営体制の具体的な改善計画を提案する。		【対象組織】 都市鉄道会社、都市鉄道運営会社を設立しようとする機関 【対象人材】 - 対象組織の計画部門に所属する職員 5年以上の鉄道業界での業務経験を有する者 - 大学卒業または同等の学力を有すること - 原則、年齢は45歳まで - 心身共に健康であること
内 容		
(1) 講義：日本の都市鉄道の特徴 (2) 講義：鉄道事業者の組織体制、人材育成、収支、需要予測、関連事業 (3) 講義：都市鉄道における運行管理、鉄道施設・車両の投資・維持管理 (4) 視察：総司令所、駅施設、軌道・信号設備、車両工場、研修所等 (5) アクションプランの作成、発表 ※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創（Knowledge Co-creation）」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。		本邦研修期間 2019/11～2019/12
		担当課題部 社会基盤・平和構築部
		所管国内機関 JICA東京（経済環境）
		関係省庁 国土交通省（運輸）
		実施年度 2019～2021
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ		